

令和3年度 上田市立豊殿小学校 学校自己評価 学校関係者評価 成果と課題・改善策と向上策

学校教育目標	めざす子どもの姿		
心豊かで向上心を持ち、実践力のある子どもの育成	心豊かな子:感じたことや、思ったことを自分の言葉で語れる子 向上心を持つ子:よりよい自分になろうと努力する子 実践力のある子:思いや考えたことを行動にうつせる子		
	今年度の具体目標		
	1	自分の言葉で語る力	
	2	よりよくなろうと努力する力	
3	行動にうつす力		

総合評価												
成果と課題	学校自己評価				運営委員評価				改善策・向上策			
	A	B	C	D	A	B	C	D				
・おおむね意識されて実践できている。	3	8	2	0	2	3	0	0	・書くことから、伝えることにつなげたい。 ・慣れてきたらマニュアルから離れ語れるようにする。			
・意識されてきている。	4	7	2	0	4	1	0	0	・努力している姿、伸びた点等、子どもたちを具体的な姿で認めていく。 ・活動を振り返る時間を確保していく。			
・意識されてきている。	4	8	1	0	3	2	0	0	・子どもたちを具体的な姿で認めたり、感謝の気持ちを伝えていく。 ・子どもたちが主体的に取り組む活動を位置づけていく。			

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	知	わかる・できる工夫	・マグネット、小黒板を使つての授業ができたか。 ・まとめの時間を確保したか。
		探究的な学び	・子どもが語るための場の設定と支援をしたか。 ・課題解決学習のスタイルで授業をしたか。 ・ICTを取入れた授業を推進したか。
		主体的に学ぶ	・生活・総合を通し主体的に学ぶ力の育成に努めたか。 ・ポブラタイムを通し、自主的に学習に取り組むための力を育成したか。
	徳	気持ちの良い学校づくり	・気持ちよいあいさつや靴揃えを実践できるための取り組みをしたか。 ・進んでそうじに取り組めるよう、支援をしたか。
		宝の活用	・豊殿地域の宝である「ひと・もの・こと」の活用を進めたか。
		異年齢交流	・キッズ活動、わくわくタイム、児童会等の異年齢集団の活動で、相手意識をもって、自ら進んで活動できるよう支援したか。
		早期対応	・アンケート、個別懇談を通して、悩んでいる子への理解と支援ができたか。 ・自己肯定感・自己有用感を涵養するための取り組みができたか。
	体	単発でない継続指導	・体みがき、食育、ネットモラル教育(メディアコントロール含)の指導を継続的に進めたか。
		安全管理・危機管理	・多様な想定による訓練を通し、「自分の命は自分で守る」ため指導ができたか。
		コロナ対策	・「てまきうし」が確実にできるように取り組んだか。 ・誹謗中傷など差別を防ぐために、正しい知識が身に付くよう取り組んだか。 ・換気、消毒等の感染予防を行うことができたか。
学校運営	連携	保護者との連携	・学級、子どもの様子が家庭に伝わるよう取り組んだか。 ・アンケートや懇談会等を通し、子どもや家庭の様子をとらえるとともに、誠意をもって丁寧に対応することができたか。
		幼保小中連携	・スムーズな受け入れ・進学のため、幼保小中連携事業を計画・実践できたか。
	研修	綱紀粛正、セクハラ防止	・非違行為防止等の研修に自分事として参加できたか。 ・豊殿小から非違行為を出さないと、いつも意識して行動できたか。
		自己研修	・自分自身の課題解決のため、日々の教材研究の実践、一人一公開に取り組めたか。 ・力量を高めるため、進んで研修へ参加ができたか。

成果と課題	A	B	C	D					改善策・向上策
・おおむね実践できている。	3	7	1	1	2	1	0	0	・力がついていない子に、学力をつける具体的な手を講じる。 ・授業で、まとめ・振り返りを大切にする。子どもの言葉でまとめをする。
・さらに努力したい。	1	7	4	0	2	4	0	0	・子どもたちが語る場を多く設定していく。 ・課題解決的な学習スタイルを大切にする。単元のねらいを明確にし、学習問題を工夫するとともに、解決するための手立てをもてるようにする。 ・クロームブックの有効な利用方法を学ぶ。
・さらに努力したい。	2	3	5	0	1	3	0	0	・生活・総合を各クラスの中核活動として位置づけ、活動に取り組んでいく。 ・子どもに任せる時間を確保する。 ・ポブラタイムを自主学習の時間として有効に活用する。
・児童会代表委員会の挨拶運動、生活委員会の靴ぞろえ確認が有効に働いている。	5	9	0	0	6	2	0	0	・子どもどうして声がけできるようにしていく。 ・友だちのよい姿を見つけたとともに、取り入れていきたいと思える場の設定を行う。 ・職員も気持ちのよい挨拶を心がけていく。
・さらに努力したい。	2	1	6	0	3	0	0	0	・コロナの状況下で難しい面もあるが、校外に学習の場、先生を求めていきたい。そのために教師自身が豊殿地区を知る必要がある。 ・子どもの話をよく聞き、そこから豊殿地区のよさを引き出したい。
・昨年と比べ実践がよくできている。コロナの警戒レベルが下がったときを見て、活動を進めることができた。	1	10	2	0	0	0	0	0	・コロナの影響もあり、年間通して活動することが難しかった。途切れることなく継続して取り組みたい。 ・ねらいをもたせて、計画的に進めたい。
・おおむね実践できている。	6	6	0	0	2	4	0	0	・児童の様子を丁寧にとらえていく。 ・よいこと、悪いことをきっちり指導する。 ・友だちや自身のよいところをとらえる活動に継続して取り組んでいく。 ・職員間で様子を伝え合うとともに、具体策の話し合いを行うようにする。
・さらに努力したい。	3	6	2	0	1	2	0	0	・子どもが継続できるよう見守るとともに、継続して指導していく。 ・毎日の積み重ねを大切にしていく。 ・食事、運動の大切さ、ネットモラルを家庭と連携し進めていく。
・さらに努力したい。	2	10	1	0	4	1	0	0	・「本番は訓練のように、訓練は本番のように」の意識が絶えないよう、日ごろから折に触れ防災を考えられるようにする。 ・振り返りを大切にする。
・おおむね実践できている。	7	6	1	0	7	1	0	0	・「てまきうしか」の取り組みを油断することなく継続していく。 ・差別を防ぐために、道徳、学活の時間を使い、繰り返し誹謗中傷について考えたり指導したりしていく。
・おおむね実践できている。	5	7	1	0	4	3	0	0	・お便り、連絡帳、懇談会、家庭連絡の機会を大切にし、家庭と信頼関係を築いていく。 ・問題行動だけでなく、子どものいいところも家庭に伝えていく。 ・最悪を想定して丁寧に対応することを心がける。
・さらに努力したい。	3	6	1	1	1	0	0	0	・安心して入学できるよう、家庭で困っていること等に丁寧に答えていく。 ・子どもが中学校へスムーズに移行できるよう、引継ぎを丁寧に行う。
・おおむね実践できている。	6	8	0	0	1	0	0	0	・自分は大丈夫ではなく、誰にも可能性があるという意識で気を付けていく。 ・子どもを叱らなくてはならないときも、一呼吸おいてから話すようにする。 ・個人情報の管理、交通ルールを守ることを常に頭に置いて行動できるようにする。
・おおむね実践できている。	5	8	1	0	1	0	0	0	・学ぼうとする意識を持ち続ける。 ・校外へ出て参観したり研修することを大切にする。 ・気になる研修は労を惜しまず参加するようにする。

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった
 *学校運営委員の皆さんには、コロナ禍により授業参観が1回だったため、評価ができる範囲で評価をしていただきました。
 *黄色の網かけは「課題が達成できた項目」、青色の網かけは「来年度重点的に取り組みたい項目」を表しています。